

第2回千曲市教育振興基本計画策定委員会 (千曲市教育振興審議会) 会議録(要約)

1 日時

令和5年8月21日(月)午後1時30分

2 場所

千曲市役所 3階 301会議室

3 会議日程

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 会議事項
- 5 閉会

4 会議事項

- (1) 第二次千曲市教育振興基本計画・千曲っ子教育ビジョンの進捗状況について
- (2) 第二次千曲市教育振興基本計画(後期計画)(素案)について
- (3) 千曲っ子教育ビジョン(素案)について
- (4) ① 次回日程について
② その他

5 出席者

○委員

宮崎樹夫委員、君島一字委員、田島仁委員、唐木文子委員、山崎俊子委員、宮原純平委員、柳澤正寿委員、池田秋政委員、塚田訓好委員、亀山正明委員、久保田英雄委員、滝沢祐子委員

○事務局

小松信美教育長、小岩成夫教育部長、吉池光裕文化創造担当部長(兼)歴史文化財センター所長、小林永典教育総務課長、宮坂敏生涯学習課長、町田博志スポーツ振興課長、小野洋文化課長、高野昌一第1学校給食センター所長、相沢賢一第2学校給食センター所長、山根義夫指導主事、坂田和弥指導主事、小池隆総合教育センター所長、田中幸夫教育総務課総務係長、鎌田貞治教育総務課学校教育係長、宮本充教育総務課教育施設係長

司会進行：教育総務課長（事前配布資料確認）

会長 本日の会議に傍聴希望がある。市の審議会等の設置及び運営に関する基本指針第7条、「審議会等の会議は原則公開とする」としていることから、会議の傍聴を希望される方の傍聴を認めることにつき、委員の皆様、ご承知、ご理解をお願いする。（一同了承）

1. 開会（教育部長）
2. 教育長あいさつ
3. 会長あいさつ

議事

(1) 第二次千曲市教育振興基本計画・千曲っ子教育ビジョンの進捗状況について

（第二次千曲市教育振興基本計画「指標などの達成すべき見通し」一覧について説明）

委員 不登校の問題について、不登校の原因が人間関係による場合、原因の子どもへの対応は何かあるのか。あるとすればどのような対応か。

教育総務課長 人間関係が原因で不登校になった事案では、不登校になった子どものケア、支援はしている。相手側にも指導、聞き取りは行っている。

委員 相手側の子どもが、不登校になった子どもをその後、気遣うこともあると理解してよいか。

教育総務課長 ケースにもよるが、気遣や、仲直りすることはある。

委員 不登校の子どもと原因になった子どもを、ただ引き離して、不登校になった子どもが、他の行き場を求めてそれで終りという形にはしない方がよいと思っている。日本では、不登校の原因となる子どもの対応がされていないことが多いと聞いたことがある。フリースクールであれば、不登校になった子どもが通うことができる。支援する側が掘り下げてフォローした方がよいと思う。

教育総務課長 原因は追求し、学校、教育委員会として、両者が解り合って元のようになればよい、両者ともにケアしている。

長野市などフリースクールも増えており、千曲市でも教育支援センターへ通っている児童生徒もいる。民間団体のフリースクールに通っている児童生徒の状況を把握するなかで、教員とも情報交換はしている。

委員 P1、『神楽保存会(継承)数』。神楽二十年、私もやっているが、どのようにしてこの数値を出されたか。発展、維持という事からの数値かと思うが。

歴史文化財センター所長 無形文化財の神楽であるが、H29年度から数値は現状維持だが、今後人口減少が進む中で、自然消滅も危惧される。具体的な計画はないが、昨年度、千曲市文化財保存活用地域計画が策定され、国の認定を受けた。

8か年計画だが、子どもたちにも各地区の行事に参加してもらいたい。更級地域の縄文祭り、10月の最終日曜日に行なわれる。そこにも地域の神楽が参加する予定。地域それぞれでイベントがあり、伝承にもつながると思う。

委員 今は、学校から帰ってくると、塾へ行くとかいろいろスケジュールが一杯で、昔、神楽に集まってくれた子どもたちが居なくなってしまった。どこが悪いわけではないが、特に学校において、見たり、触れたりすることができるように考えていただきたい。

委員 『食材の地場産物の使用度』、10%低くなっているが理由は。発注すれば増える、または、発注しても地域に供給能力がないのか。

『住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合』、これは中学生も含めて数値が高い。どのような行事に参加されているか。

第2給食センター所長 給食センターでは大量の調理が必要。地場産で一定程度の量を確保できないと頼めない。業者と連絡を取りながら使用材料調達を多くはしているが、規格が揃

って大量にというところがネックである。センターは第1、第2あるが、第1は調理量が更に多くなるため、地場産が少ないというのもある。内訳は、第1が40.52%、第2が51.07%である。努めてまいりたい。

教育総務課長

地域の行事に参加は、小学生81.2% 中学生68.2%。全国学力調査結果ではどのような行事に参加したかは記載ないが、ごみゼロ、千曲川クリーン作戦、資源回収等の各地区の行事に参加している割合だと承知している。

委員

給食センターは大型化しない方が地場産を使う比率が高くなる。納得した。

委員

『文化財の指定件数』、調査に時間がかかっている。ご苦労されている。素案のP16、登録・保護と指定という言葉が使われているが何か意図があるか。指定を目指していくが、その前に保護があるのか、登録が国の制度によることからここに指定という言葉も入った方がいいと思う。

歴史文化財センター所長

国は、指定や登録の制度を設けている。市の条例に規定があればこのままで、規定がない場合、国、県の文化財も含むということであればこの表記が活かされていていいものかと思う。わかりやすいように整合をとりたい。

会長

コロナ感染拡大の状況があるなか、目標値の10年後のところをこのまま押し進めるのかと素朴な疑問である。計画後半の方が大変になるので、合理的な理由がある場合は、目標値の変更とか検討される余地があるのかどうか。

教育総務課長

10年計画なので成果指標をこのまま引き継ぐというところであるが、上位計画である総合計画が昨年、策定された。後期の計画は、総合計画にある指標に変更させていただきたい。

会長

検討をいただければ。

(千曲っこ教育ビジョン「達成目標」一覧について説明)

委員

『文化スポーツに親しむ環境整備』、授業以外に運動やスポーツを週1回以上していると回答した子どもの割合とあるが、運動とスポーツとは定義が違うのか。達成方針に文化、スポーツとあるが、運動、スポーツ、文化はどのような分かれた見解があるのか。

千曲型コミュニティスクールについて、校長、教頭等先生が代わったり、熱意のある先生がいると、内容も大きく変わる場合がある。基準はあるか。千曲型コミュニティスクールは県、国と何か違うのかどうか。

スポーツ振興課長

運動は個人の健康や楽しみのために体を動かすような活動。スポーツにつきましては、個人、団体競技に限らず、競技性のあるものと捉えている。

文化課長

学校の中、地域の中での指標になるので、文化自体が取り上げられていない。今後の計画の中で、取り入れていければと思う。

教育総務課長

コミュニティスクールについて、校長会、教頭会で伝えていく。千曲型コミュニティスクールは県とそれほど大きな違いはない。

会長

不登校の割合について、小学生は全国1.3 長野県1.6、千曲市1.58。中学校は、全国5.0で長野県5.6。この参考値を記載されたい。

(2) 第二次千曲市教育振興基本計画(後期計画)(素案)について

(3) 千曲っこ教育ビジョン(素案)について

(事務局より順次、説明)

委員

P5「項目2 豊かな心・健やかな体の育成」、いじめについて早期発見は重要だが、早期解決とは。事例にもよるとは思うが、じっくりと解決に向けて取り組んでもよいかと思う。P7「スポーツ活動への積極的な参加や文化・芸術活動に触れる機会の提供を図ります。」とあるが、全生徒が対象か。

教育総務課長

いじめの認知については、些細なところから認知をして、早期解決に努めているが、時間がかかる事案もある。事案によって、適切に対応していく。

P7 全生徒が対象として考えている。

委員 全生徒が対象とされるが、文化、芸術には個人差がある。文科省で組まれているその授業で対応ができるのか。特別に文化、芸術に進みたい子どもだけが、授業以外にも長期の夏休み、春休みを利用して、体験、鑑賞する機会を特別に多くできるなどの案はあるか。

教育長 特別な子どもということ念頭にはありません。全ての子どもたちが文化は楽しいと思えるような子どもたちを育てていく。そのうえで、更にやりたい子は特別なコースへいく。市教委では、特別なところまでは考えていない。

委員 P12 団体・ボランティア。市民とのパイプ役となる人材の育成や研修を行うとあるが、誰が行うということか。

生涯学習課長 育成会または、補導委員である。

委員 ボランティアは、有償か無償か。

生涯学習課長 生涯学習で担当しているものについては、地域の役員という位置づけになってくるものが多い。育成会については無償。補導委員は市で組織しているものであり、有償である。

委員 小中学生の皆さんにオペラを無料で観ていただく活動があった。市内の子どもたちにチラシを配られ、当日は一般の方が多かったが、こういう機会はとてもいいことである。

有償ボランティアだが、私も公民館活動など参加させていただいているが、生涯学習課以外で文化として、長野だとホクトとか演奏家の方とか美術の方など人材バンクというのがある。千曲市もよく見ると、人材バンクとあるが、ほとんど活用されていない状態。そういうところ力を入れていただいて、千曲市にもそういうことができる方が多くいるので、人材バンクを発展させていく。ぜひ進めていただきたい。

生涯学習課長 人材バンクの有効活用について、担当課でも方策が見つからず苦慮している。教えたい方と教えていただきたい方の思惑が一致しない現実があるということでご理解をいただきたい。ご意見のとおり、テコ入れが必要だと考えている。

委員 P10、行政の役割として、『親としての学びを支援する学習機会の提供と、子どもが親になるための学びの推進を図る』。非を唱えるものではない。総合計画策定の際、申し上げたが、中国地方の岡山県等々には、親学推進協議会というのがある。家庭や地域の中で中心になるのは、男であり、父親でありという発想のもと、親学推進協議会ができていくわけで、文字はこのままでいいので、内容をぜひ注意を払っていただきたい。

P18、表の中で、各主体に期待される主な役割。地域とあるが、概念としては区とか自治会という理解で良いか。文化の伝承に努めると、言葉で書けばその通り。全く否はない。問題は伝承の進め方。祭りごとに対する市の条例、昨年7月に廃止された。祭りごとに対する寄付行為は、県の迷惑防止条例の適用となった。言葉ではこのままでいい。実際に行われていることは、市教委でもつかんでいたほうがよいのではないかと思う。

会長 P13、教職員の働き方改革。大学で担当しているが、記載されていることの具体性が非常に乏しい。例えば校務支援システム活用はいいと思う、次の内容は目標や理念ではないか。財務省ウェブ上にいろんな事例がある、具体化していただきたい。教職員が気持ちよく相談できる体制とあるが、こういう組織を作って先生方が医師にきちんとつながる、カウンセラーにつながるとか。

教育総務課長 ありがとうございます。より具体的な記載の方法を検討し、次回、(案)としてお示しさせていただきます。

会長 内容中、努めますとか、目標に類した言葉が入っている。実現できることが具体的に記載されるものだと思う。具体策を次回、お示しいただきたい。

教育総務課長 検討して、お示しさせていただきます。

- (4) ① 次回日程について
- ② その他

(終了 午後3時45分)